



生まれてくる赤ちゃんを先天性風しん症候群から守る 風しん予防接種費用の助成を行います

今年春頃から国内で風しんが流行しており、11月14日までの報告では全国で累積2032人の方が風しんに感染している状況です。これは昨年1年間の2.2倍の報告数となっております。最初は関東での流行でしたが、現在は大阪府や兵庫県、京都府でも感染者数が増えてきており、奈良県内でも感染者が出始めている状況です。

■ 目的

風しんは感染力が強く、抗体価の低い妊婦が妊娠初期に感染すると、先天性風しん症候群（先天性心疾患や難聴、白内障など）の赤ちゃんが生まれる危険性が高くなります。先天性風しん症候群を防ぐためには、これから妊娠する女性や、妊婦の周囲の人が風しんの抗体をつけることが重要です。そのため、これから生まれてくる赤ちゃんを先天性風しん症候群から守るために風しん予防接種の費用を助成します。

■ 対象者

ワクチン不足が懸念される中、小児の定期接種ワクチンの確保も念頭に置き、今回は緊急的な対応として、風しん抗体検査を受けその結果抗体価が低かった人を対象者の条件とします。

《次の条件を全て満たす人》

- 今年4月1日以降に風しん抗体検査を受けた結果、抗体価が低かった人
- 妊娠を希望する女性か風しん抗体価が低い妊婦の配偶者。ただし、妊娠を希望する女性が何らの理由でワクチン接種ができない場合は、その配偶者を対象とします。
- 予防接種時に本市に住民票がある人
 - ※ ただし、風しんの既往歴や明らかに予防接種歴がある人、平成2年4月2日以降に生まれた人（定期2回接種の年代の為）は補助対象外です。

■ 助成内容

平成30年4月1日～平成31年3月31日に受けた予防接種費用の補助をします。現在、奈良県では、成人には定期接種に使用しない麻しんおたふくかぜ風しん混合（MMR）ワクチンの接種を推奨していますので、MMRワクチンも補助対象とします。

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・ 風しん単独ワクチン | 上限3,500円 |
| ・ 麻しん風しん混合（MR）ワクチン | 上限5,000円 |
| ・ 麻しんおたふくかぜ風しん（MMR）ワクチン | 上限6,000円 |

※ 助成はいずれか1回だけです。既に予防接種を受けた人でも条件を満たしていれば、平成30年4月1日まで遡って補助します。

■ 申し込み方法

平成31年3月29日（金）までに必要書類を添えて、健康課まで申請してください。
申請に必要な書類など詳しくは、健康課にお問い合わせください。